

2022年12月21日

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、病理学講座・病態神経科学分野（旧病理学第一講座）では、本学および下記の共同研究機関から剖検組織検体と診療情報等の提供を受けて、下記研究課題の実施に利用しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方のご遺族の中で、患者様の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合には、下記の各医療機関へ直接ご連絡いただくか、もしくは下記の問い合わせ担当者又は研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者様やご遺族に不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] 剖検脳脊髄を用いた酸化ストレスによる神経細胞機能の障害と細胞死に関する研究

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：東京女子医科大学病理学講座（病態神経科学分野）准教授 増井憲太  
本研究に関する問い合わせ先：東京女子医科大学病理学講座（病態神経科学分野）准教授 増井憲太  
電話：03-3353-8111（内線 31426）（応対可能時間：平日9時～16時）Eメール：[masui-ken@twmu.ac.jp](mailto:masui-ken@twmu.ac.jp)

[研究対象者]

1981年から2010年までの間に筋萎縮性側索硬化症、レビー小体型認知症、アルツハイマー病および非神経疾患で亡くなられ、東京女子医科大学病院（総合責任者：病理学講座増井憲太准教授）ならびに新潟大学脳研究所（分担責任者：病理学分野柿田明美教授）で病理解剖された方

[利用している人体組織・診療情報等の項目]

剖検組織検体：脳脊髄

診療情報等：診断名、年齢、性別、検査結果等

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

本研究は、筋萎縮性側索硬化症、レビー小体型認知症およびアルツハイマー病の病態を酸化ストレスの視点から分析し、これら神経難病の新規治療法開発に関わる情報を得ることを目的としています。

[共同研究機関及び研究責任者]

【主な提供方法】 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）  
新潟大学脳研究所（病理学分野）教授 柿田明美

[利用期間] 倫理委員会承認後から2025年3月31日まで

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 岩本絹子

研究責任者：東京女子医科大学病理学講座（病態神経科学分野）准教授 増井憲太

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学病理学講座（病態神経科学分野）准教授 増井憲太

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）Eメール：[masui-ken@twmu.ac.jp](mailto:masui-ken@twmu.ac.jp)